



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 1 日

上 場 会 社 名 株式会社九州リースサービス

(コード番号：8596 福証)

(URL <http://www.k-lease.co.jp/financetop.html>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 榎本 重孝

責任者役職・氏名 常務取締役業務本部長 岩橋 憲策

(TEL: 092 - 431 - 2530)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無  
認識の方法との相違の有無

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 売上高 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	22,570	12.6
16 年 3 月期第 3 四半期	25,835	-
(参考)16 年 3 月期	33,790	-

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。  
パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示します。

[売上高に関する補足説明]

当第 3 四半期累計におきましては、リース取引や営業貸付取引を中心に、量の拡大より収益性および安全性を優先した取組をさらに徹底いたしました。また、収益の新しい柱として拡充を図っております。フィービジネス事業は、生命保険の募集、自動車リースの紹介ならびに不動産関連サービスの提供を中心に積極的に推進いたしました。

この結果、リース事業では、不動産賃貸料収入は増加したものの、リース取引における賃貸料収入の減少により、売上高は 19,477 百万円（前年同期比 15.3%減）となりました。

融資事業は、SPC（特別目的会社）を活用したプロジェクト融資や消費者金融業者向けの融資など新たな資金需要を開拓するとともに収益性の向上に努めました結果、売上高は 1,239 百万円（前年同期比 13.2%増）となりました。

フィービジネス事業は、不動産関連サービスの提供や自動車リースの紹介等が好調に推移し、売上高は 710 百万円（前年同期比 29.8%増）となりました。また、その他事業の売上高は 1,142 百万円（前年同期比 3.8%減）となりました。

以上の結果、当第 3 四半期累計の売上高は 22,570 百万円（前年同期比 12.6%減）となりました。

なお、従来、生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供等の手数料収入事業は、「その他事業」に含めておりましたが、当期より「フィービジネス事業」として集約のうえ、区分することいたしました。これに伴い前年同期との比較は、区分変更後の数値に基づき算出しております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	30,000	3,100	1,000	26 94

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は概ね計画通りに推移しており、前回（平成 16 年 11 月 26 日）公表の通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上